

2023

9.16 Saturday — 11.26 Sunday

岐阜県現代陶芸美術館 ギャラリー1・II

開館時間：10:00—18:00(入館は17:30まで)

休館日：月曜日(ただし9月18日、10月9日は開館)、9月19日(火)、10月10日(火)

観覧料：一般 1,000円[900円] 大学生 800円[700円] 高校生以下無料

※[ ]内は20名以上の団体料金

※以下の手帳をお持ちの方および付き添いの方1名まで無料

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、特定医療費(指定難病)受給者証

主催：岐阜県現代陶芸美術館 共催：中日新聞社 協賛：加藤智子氏



# 三島喜美代

遊ぶ  
見つめる  
創りだす





三島喜美代(1932年生まれ)は、大阪市と岐阜県土岐市を制作の拠点として活動し、陶で雑誌や新聞、ダンボールなどを表現する革新的な作品で知られています。その活動と作品は、陶表現と現代美術の世界にわたって展開されてきました。

油絵からスタートした三島は、1960年代には雑誌や新聞紙を画面に切り貼りした、コラージュの平面作品で注目を集めました。そして新聞を陶に転写する表現に取り組み始めます。

情報化社会や大量消費社会のなかで作られては廃棄される、新聞やチラシ、ゴミを題材とする作品は、ユーモアを含んだ表現であるとともに、現代社会の問題をみつめる三島のまなざしを伝えています。好奇心を原動力としたその創作活動は、90歳を迎えた今、国際的な評価も、ますます高まりをみせています。

本展は、三島がみつめ、挑み続ける創作の世界を、初公開作品を含む初期の作品から最新作までを通じて紹介する、過去最大規模の個展となります。



#### ワークショップ

「リユースに挑戦! フリンジふわふわバッグをつくろう」

日時: 10月28日(土) 13:30~15:30

企画・指導: アンファッションカレッジ

会場: 岐阜県現代陶芸美術館プロジェクトルーム

定員: 15名 参加費: 500円

対象: 小学3年生以上 要事前申込[受付開始9月16日(土)]

#### ギャラリートーク

当館学芸員が展示解説を行います。

9月24日(日)、10月15日(日)、11月12日(日) 各日14:00~  
要観覧券、事前申込不要

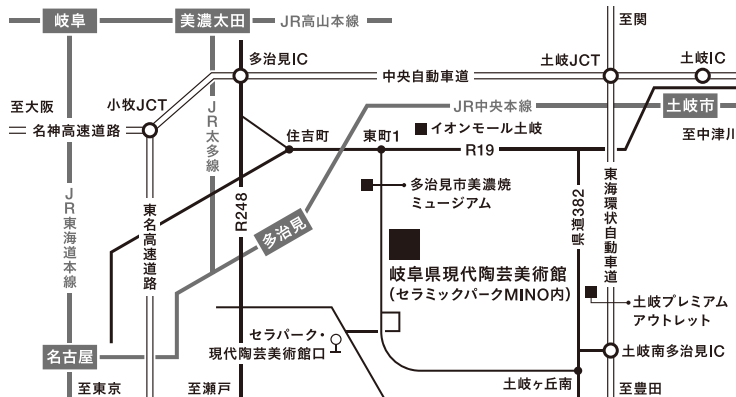
他にも、本展会期中にさまざまなイベントを開催いたします。  
詳しい内容や申込方法、ここに掲載していないイベントについては、当館HP等でお知らせいたします。

新型コロナウイルス感染症の状況等により、  
予定に変更が生じる場合がございます。  
最新の情報は当館HPをご確認ください。

<https://www.cpm-gifu.jp/museum>



- 1.《Copy '78-'80》1978-80年 滋賀県立陶芸の森 撮影: 杉本賢正 2.《Work 03》2002年 岐阜県現代陶芸美術館
- 3.《Work-96A》1996年 岐阜県現代陶芸美術館 4.《バナボックス》2007年 岐阜県現代陶芸美術館
- 5.《Work21-A》2021年 森美術館 撮影: 古川裕也 表:《Work23-S》(部分) 2023年 個人蔵



#### 公共交通機関でのアクセス

東京・大阪方面⇒名古屋駅でJR中央本線に乗換/多治見駅から

□タクシー 約10分

□多治見市コミュニティバス「オリベ観光ルート」約20分⇒「セラミックパークMINO」下車※土・日・祝のみ運行

□東鉄バス「瑞浪駅前」「妻木上郷」「駄知」行き 約15分⇒「セラパーク・現代陶芸美術館口」下車⇒徒歩約10分

#### お車でのアクセス

□東京方面: 東名高速⇒豊田JCT経由、新東名高速⇒豊田東JCT経由

□富山方面: 東海北陸自動車道⇒美濃関JCT経由

□長野方面: 中央自動車道⇒土岐JCT経由

東海環状自動車道 土岐南多治見ICから約5分

□大阪方面: 名神高速⇒小牧JCT経由

中央自動車道 多治見ICから国道19号を土岐・中津川方面に約10分⇒東町1の交差点を右折



Instagram



Twitter



Facebook



岐阜県現代陶芸美術館  
Museum of Modern Ceramic Art, Gifu

〒507-0801 岐阜県多治見市東町4-2-5

(セラミックパークMINO内)

TEL 0572-28-3100 FAX 0572-28-3101